

ものとなるよう、農業経営の発展の目標を明らかにし、効率的かつ安定的な農業経営の育成を推進する必要があると考えております。

具体的には、さとうきび、園芸作物、特産農産物等について生産拡大と地域ブランド化を図り、農業経営の足腰の強化に努める必要があると考えております。

農業農村整備については、与勝2期地区、南風原・西原地区、上原2期地区の県営事業と、与那城地区、うるま1期地区、うるま2期地区の市営事業を引き続き推進し、新たに、うるま3期地区の事業実施を予定しております。

畜産業振興については、優良肉用牛子牛生産奨励事業等の畜産事業助成を継続するとともに、うるま市畜産共進会および子牛共進会を開催し、畜産農家、畜産団体等の育成指導を図る必要があると考えております。

また、松食い虫対策については、琉球松の健全木保存のため、被害木駆除事業を実施する必要があると考えております。

水産業振興については、漁業経営の安定化と効率化を図るため、地域水産物供給基盤整備事

業（津堅地区）、浮魚礁漁場整備事業を推進する必要があると考えております。

うるま市バイオマスタウン構想については、廃食油再資源化精製プラント工場も完成し、循環型社会の構築に取り組んでまいりました。

さらに、石炭火力発電所の燃料となる木質系ペレット製造工場の早期完成を支援し、建築廃木材等の有効利用を図る必要があると考えております。

労働行政については、依然として厳しい雇用状況下において、引き続き新パッケージ事業（地域雇用創造推進事業）を提案し、採択に向けて努めていく必要があると考えております。

また、求職・職業相談の窓口「うるま地域職業相談室」は、沖縄労働局と連携を図り、雇用の拡大に努めていく必要があると考えております。

高齢者の雇用については、社団法人うるま市シルバー人材センターと連携して、会員の募集を促進し、福祉の増進に努める必要があります。

商工業については、うるま市商工会と連携を図り、国・県の緊急保証制度の活用を推進と商工業の振興に努めるとともに、



あやはし海路ロードレース大会

中小企業勤労者のための「沖縄中部勤労者福祉サービスセンター（ゆいワーク）」に加入し、勤労者の福祉の向上を図る必要があると考えております。

企業誘致については、中城湾港新港地区を中心に企業誘致を進めているところであり、企業が、企業立地促進条例や地域総合整備資金貸付制度等の活用を図るとともに、経済産業大臣認定の「うるま市企業立地促進計画」に基づき、さらなる産業振興を図る必要があると考えております。

観光振興については、本市の3大イベント（闘牛、エイサー、

現代版組踊り肝高の阿麻和利）の定期的開催や「うるま祭り」、「うるま市エイサーまつり」および「あやはし海中ロードレース」の実施により、市民の融和や観光客の誘客を図っていく必要があります。

また、うるま市物産振興会と連携して「うるま市産業まつり」を実施し、物産の振興を図っていく必要があると考えております。

